

## 平成27年度 事業報告書

### 1 宇宙及び科学に関する知識の普及啓発

#### (1)宇宙情報誌「そらのとびら」発送

宇宙に関わる様々な分野の方の活動や宇宙への思い、宇宙及び科学に関する最新のニュースや新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの持つ冒険心・匠の心・科学する心を育むことを目的として、宇宙情報誌の編集協力等を行い、YAC団員及びYAC関係者へ発送しました。

#### 【発行】

6月：No.032「探検!臼田宇宙空間観測所」2015年6月30日発行

9月：No.033「宇宙実験が始まるまで」2015年9月30日発行

12月：No.034「H-IIA ロケット高度化プロジェクト」打上げ 2015年12月28日発行

3月：No.035「いろいろな光で宇宙を探る」2016年3月31日発行

#### (2)YAC通信の発行

(公財)YACホームページの運営およびYACコミュニティサイトの運営では、青少年を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発の促進、そしてインターネットを利用した宇宙教育活動の推進を目的にウェブページの運営を行い、分団活動や財団事業等の情報を発信しました。

#### (3)「宇宙教育テレビ」放送

宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせ、放送番組の内容を JAXA 宇宙教育センターと協力して計画し、その情報をインターネット番組で以下の日程で配信しました。

【宇宙教育テレビ】(筑波宇宙センター特別公開レポート) 2015年4月27日配信

### 2 青少年の連携及び交流の促進事業(特定費用)

#### (1)宇宙子どもワークショップ「2020年宇宙の旅」

公益財団法人日本宇宙少年団は、設立以来、全国に分団を組織し、団員・ボランティアリーダーとともに30年にわたり宇宙教育活動を行ってきました。それぞれの地域に根ざした活動を充実し、同じ目標に向かって成長する全国組織を目指し、目標を達成させるための全体活動プログラムとして「2020年宇宙の旅」事業に取り組み、活動の輪を広げています。

今年度は、金沢市教育委員会と日本宇宙少年団は実行委員会を立上げ、共通の目標である宇宙教育を通して青少年の夢・希望を育むことを趣意に、人材育成の象徴的な全国プログラムとして、「宇宙子どもワークショップ2015in金沢」を開催しました。

#### 【2020年宇宙の旅(2年目)YAC 団員対象】

日時：平成27年9月20日(日)～22日(火)

会場：金沢市民芸術村、金沢市文化ホール、銀河の里キゴ山(石川県金沢市)

対象：YAC団員・指導員(リーダー)・一般

プログラム：

#### ① ワークショップ：

太陽系モデル作り、骨伝導体験、玉子落とし、衛星観測の仕組み、水ロケット製作、  
ペンシル型ストローロケット、簡易分光器製作、特設ブース

#### ② アイデアロケットエキシビジョン

- ③ 水ロケット発射体験
- ④ 水ロケットコンテスト
- ⑤ 國中均先生講演会
- ⑥ 団員交流会・ポスターセッション

## (2) 30周年記念事業

財団設立30周年を機に、これまでの30年の歩みを振り返り、将来へ向けて更なる発展につなげられるよう「日本宇宙少年団30周年記念事業」を以下のとおり実施し、この記念事業を通して、地域に根ざした日本宇宙少年団活動のよさをアピールするとともに、その魅力を全国に発信することによって、YAC活動の認知度を高め、YAC団員拡大につなげるようにしました。

### 1) 記念事業

#### ① 日本宇宙少年団地区ブロック連携事業

##### ● 北海道地区

- ・講演「宇宙で生活するには」JAXA名誉教授平林久
- ・工作「ひかりの不思議」分光器
- ・国際宇宙ステーション」をテーマに手作りロボットアームを操作、エンドエフェクターの製作による原理の学習
- ・地球から学ぶ」と題しジャイロコンパスの原理を学ぶ

##### ● 東北地区

- ・連絡協議会による初の会合、国立天文台水沢VLBI観測所施設見学

##### ● 北陸信越地区

- ・「宇宙子どもワークショップin金沢」として実施

##### ● 関東地区

- ・水ロケット大会

##### ● 近畿地区

- ・『宇宙船生活を体験しよう！！』 宿泊施設に海洋センターを宇宙船に見立て、チームごとにミッションをクリアしていくキャンプを実施(1泊2日大阪府立青少年海洋センター)

##### ● 中国地区

- ・水ロケット大会

##### ● 九州地区

- ・合同キャンプ(1泊2日 霧島自然ふれあいセンター)
  - ー水ロケット、宇宙飛行士、天文、衛星データ活用の4コースに分けてキャンプ活動を実施
  - ーJAXA職員による記念講演;井元隆行イプシロンロケットプロジェクトチームサブマネージャ
- ・中高生宇宙基礎講座
  - ー講座 1 衛星データで学びを豊かに
  - ー講座 2 宇宙と航空の最前線を知って 2 段式モデルロケットを打ち上げよう
  - ー講座 3 ロケットセンサーで水ロケットを科学しよう

### 2) 財団設立30周年記念祝賀懇親会

これまで財団運営を支えて下さった賛助会、関係機関、財団OBやOGの関係者を招きし、これからも宇宙開発の応援団として日本宇宙少年団活動のさらなる発展を祈念した祝賀懇親会を開催しました。(平成 28 年 3 月 24 日 ちよだプラットフォームスクウェア)

### 3) 特別事業

設立記念日のつどい(11月21日)として、連携団体長会議の後に以下の式典を行いました。

- ・松本理事長講演
- ・設立当初より長年に亘って宇宙教育指導に携わる功労者への表彰
- ・分団感謝状授与
- ・宇宙開発分野で活躍する団員OB/OGを招いたお話
- ・懇親会

#### 4) 冠事業

①毎年恒例で実施しているスペースキャンプに「30周年記念事業」の冠を付けて実施しました。

- ・つくばスペースキャンプ
- ・種子島スペースキャンプ
- ・YAC宇宙レポートin種子島
- ・伊豆大島スペースキャンプ

#### ②夢チャレンジ

昨年頑張ったこと、今年一年の目標に向かってチャレンジしたいことを投稿してもらい、応募者全員に特別賞状と記念品を贈りました。

#### 5) 広報・宣伝事業

##### ①ホームページ整備

専用ページを開設し、財団設立30周年記念事業全体にわたる広報及び宣伝を行い、日本宇宙少年団30年の歩みや宇宙教育活動の魅力を社会に向けて情報発信しました。

##### ②30周年記念マーク

30周年記念マークを連携団体(分団)に配布、財団日常で使用する封筒や印刷物に入れて広報及び宣伝活動に役立てました。

### 3 宇宙及び科学に関する青少年の人材育成事業

#### (1) 種子島スペースキャンプ

ロケット打上げ射場のあるJAXA種子島宇宙センターや科学館の見学、ウミガメ学習やマングローブでのカヤック体験等、種子島の自然や歴史に触れる体験学習を行いました。また、種子島の子ども達にも参加してもらい全国から集まった友達と交流を深めました。

共 催： 日本宇宙少年団鹿児島地方本部

協 賛： 株式会社南九州ファミリーマート

後 援： 鹿児島県、南種子町、中種子町、西之表市、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿児島県宇宙開発促進協議会

協 力： 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、コカ・コーラウエスト株式会社、(社)ガールスカウト鹿児島県連盟

時 期： 平成27年8月7日(金)～11日(火) 4泊5日

場 所： 種子島全域(西之表市、中種子町、南種子町、種子島宇宙センター他)

対 象： 52名(小学校4年生～中学校3年生 3名欠席)

スタッフ：指導員(リーダー)、運営スタッフ、看護師、協賛企業担当者など約20名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
8月7日(金)	西之表港又は種子島空港に集合⇒自然の家着後、結団式 (夜)ウェルカムパーティー	種子島 (自然の家)
8日(土)	南種子町企画(メヒルギ群生見学・シーカヤック・ 広田遺跡ミュージアム見学、貝殻アクセサリ作り体験)、 水ロケット工作① (夜)手作り調理	〃
9日(日)	水ロケット工作② ウミガメ教室・水ロケット最終調整と作戦会議 (夜)星空観察	〃
10日(月)	宇宙科学技術館見学/JAXA 種子島宇宙センター見学 水ロケットの打上げ大会 (夜)体験発表とフェアウェルパーティー	〃
11日(火)	解団式 西之表港/種子島空港 解散	-

## (2) 筑波スペースキャンプ

宇宙飛行士訓練施設で模擬訓練体験を行い、初めて出会う多様な年齢の仲間と楽しく学びながらコミュニケーション能力等を学びました。また、30周年記念特別プログラムとして、匠の技をテーマにそれぞれが描く宇宙を「江戸切子」で作品作りに挑戦し、産業技術総合研究所職員によるランドサットの衛星データを使った地球観測について学習を行いました。つくば市にある(株)エイ・イー・エスの小型衛星地上局の施設では、小型衛星SOCRATESについて講義を受け、衛星ペーパークラフトの工作、管制施設では実際軌道上の衛星と通信する様子、アンテナが受信する際に動く様子を見学しました。

時期：平成27年8月9日～11日 2泊3日

場所：江戸切子「おじま」(東京都墨田区)

JAXA 筑波宇宙センター、  
(株)エイ・イー・エス(筑波事業所研究開発棟)  
つくばエキスポセンター

対象：小学4年～中学2年生 19名

協力：(株)エイ・イー・エス、(株)スペースサービス

行程：

日付	主な内容	宿泊
8月9日(日)	羽田空港参加者と合流(専用バス)⇒江戸切子「おじま」※江戸切子の体験・作品作り⇒ホテル、夕食後衛星データ学習	Hつくばヒルズ梅園
10日(月)	(株)エイ・イー・エス小型衛星地上局(小型衛星の通信見学)⇒JAXA筑波宇宙センター食堂にて昼食、展示館見学⇒エキスポセンターでプラネタリウム鑑賞⇒ホテル	〃
11日(火)	JAXA筑波宇宙センター、宇宙飛行士模擬訓練体験、筑波宇宙センター食堂にて昼食⇒各解散場所	—

## (3) 銀河教室inつくば

毎年子ども達の夏休みに合わせ、毎日小学生新聞との共催事業で「銀河教室inつくば」のスペースキャンプを実施しました。毎日小学生新聞「銀河教室」連載の的川泰宣先生のお話し、新日鉄住金職員による特別講義、筑波宇宙センターでは施設見学のほか、宇宙飛行士訓練施設で模擬訓練体験を行い、初めて出会う仲間と楽しく学びながらコミュニケーション能力等を学びました。

日程：平成26年7月27日(月)～29日(水) 2泊3日

場所：ちよだプラットフォームスクウェア会議室

JAXA筑波宇宙センター

主催：公益財団法人日本宇宙少年団、毎日小学生新聞

協賛：新日鉄住金

対象：小学4年生～中学2年生の男女40名

行程：

日付	主な内容	宿泊
7月27日(月)	羽田集合、東京駅新丸ビル前(集合)⇒ちよだプラットフォームにて的川泰宣先生講義⇒筑波へ移動(ホテル着)	Hつくばヒルズ梅園
28日(火)	筑波宇宙センターで宇宙飛行士模擬訓練体験、新日鉄住金職員による講義⇒ホテル着、体験まとめ・発表	〃
29日(水)	筑波宇宙センター展示館見学⇒解散場所(解散)	—

## (4) YAC宇宙レポートin種子島

ホンモノ体験プログラム「YAC宇宙レポートin種子島」として、H-2Bロケット「こうのとり5号機」打上げ見学のため種子島を訪れたが、延期の発表に伴い打上げを見ることができませんでした。ロケット打上げは見ることは出来ませんでした。滞在期間中、打上げ勉強会、種子島宇宙センターの宇宙科学技術館見学や増田宇宙通信所の見学、カヤック体験等を行いました。

日程：平成27年8月15日(土)～18日(火) 3泊4日

場所：種子島(南種子町、種子島宇宙センター他)

対 象：小4年生～中学3年生 39名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
8月15日(土)	羽田空港発⇒鹿児島空港着<鹿児島空港集合合流>(専用バス)⇒鹿児島南本港埠頭<鹿児島本港南埠頭合流>(高速船トッピー)⇒鹿児島本港南埠頭⇒西之表港⇒ホテル着	大和温泉ホテル
16日(日)	種子島宇宙センター宇宙科学技術館見学、昼食、島内見学⇒ホテルに戻り宇宙開発勉強会	〃
17日(月)	シーカヤック体験⇒ホテルで昼食⇒再び種子島宇宙センター宇宙科学技術館を訪れ星出宇宙飛行士と面会⇒増田宇宙通信所見学⇒トミー市場(物産市場)⇒ホテル着	〃
18日(火)	西之表港(高速船トッピー)⇒鹿児島本港南埠頭<鹿児島本港南埠頭解散>(専用バス)⇒鹿児島空港から出発の参加者は途中食事処「奄美の里」で昼食⇒鹿児島空港<鹿児島空港解散>⇒鹿児島空港発⇒羽田空港着<羽田空港解散>	—

### (5)伊豆大島スペースキャンプ

伊豆大島では主に大学生によるモデルロケットの共同打上げ実験が行われており、高校生になるとロケットガール&ボーイ養成講座に参加して本格的なロケット作りを学ぶことができます。「YAC伊豆大島スペースキャンプ」では、次世代のロケットガール&ボーイとしてロケットに興味のある中学生及び高校生を対象に、伊豆大島での共同打上げ実験を見学、本格的なロケット作りの初級となるモデルロケットの講習を受けた後、第4級ライセンス取得に、4級ライセンス取得者は3級ライセンスに挑戦しました。

時 期：平成28年3月19日(金)～21日(日)2泊3日 ※1泊は船中泊

協 力：伊豆大島共同打上実験運営委員会

募 集：YAC・Web申込(YAC団員及び一般)

場 所：伊豆大島実験フィールド

対 象：中学生、高校生 16名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
3月19日(金)	集合(東京・竹芝客船ターミナル)、乗船	船中泊
20日(土)	大島 着、伊豆大島観光(椿油絞り体験、火山博物館)⇒裏砂漠(大学生共同打上実験・見学)⇒ホテルモデルロケット3・4級ライセンス講習会及び交流会	伊豆大島温泉H
21日(日)	モデルロケット打ち上げ 大島 発⇒東京 着 ※欠航により乗船便の変更 解散(熱海港、竹芝客船ターミナル)	—

## 4 その他の事業

### (1)団体等連携団体との協力の促進

#### 1)分団等との連携協力

JAXA宇宙教育センター協力の下、平成27年度は以下の分団結成の支援を行いました。その他定期的に新規分団結成の問合せや分団からの課題の相談に応じてアドバイスをを行いました。

① 平成27年10月25日(日) 前橋分団(群馬県)

#### 2)第5回衛星データ利用コンテスト

全国の小中学生・高校生に、人工衛星のデータを利用し自ら課題を見つけ調査・分析に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらうことを目的として実施しました。専用webサイトでは過去に取り組んだ成果や実際に衛星データを使用する体験ツールを公開、提供しています。

期 間：平成27年8月15日(土)～平成28年1月31日(日)

応募資格：小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒のグループ及び個人

表彰：以下の部で最優秀賞(各部門1グループまたは1名)、優秀賞(各部門1グループまたは1名)、審査員特別賞(部門によらず、数グループまたは数名)を選定しました。

個人の部：小学校4年生以上6年生以下、中学生、高校生

グループの部：小学校4年生以上6年生以下、中学生、高校生

大人の部：YAC指導員、一般

### 3)JAXA研究公募(RA-4):公募型共同研究「ALOS-2データ利用」

衛星データの能動的処理を活用した教育方法の開発をテーマとして、平成25年5月、JAXA共同研究の承諾を受け、H26年度より全国のYAC団員及び一般の子どもを対象にYAC分団共通プログラム「だいち2号に写ろう！」を企画し、子供たち自身でコーナ反射鏡(CR)を製作し、ALOS-2の観測画像に写り込み、これを本研究を通して開発している独自ソフトウェアによって分析して自分たちの製作したCR像を観測画像中に発見するという宇宙ホンモノ体験を提供してきました。H27年度は、CRをより簡易に製作する手法の開発、複雑な文字を描く実証実験、ALOS-2が電磁波レーダーであることを利用した偏波実験手法の開発等も行い、スクールYAC活動への支援や小学校との連携活動も行うなど、本企画の活動を様々に発展し広げてゆける手法を提供できるように教育方法の開発を進めました。これらの成果や手法についてはIAC(国際宇宙会議)やALOS-2ワークショップにおいて発表報告しました。「だいち2号に写ろう！」の情報は日本宇宙少年団ホームページに掲載しています。なお、三菱電機(株)様より記念品を提供いただき、参加者へ配布しました。

### 4) HAKUTO PRIZE(ハクト プライズ)

YAC教材「バルーンローバー」を使い、またはヒントにして自分のローバーミッションに挑戦し、その挑戦したレポートを送ってもらった。レポートの内容は、実際に月面探査に挑戦しているHAKUTOチームの専門家から講評をもらい、(株)IHI様からの記念品を子ども達に贈呈した。

### 5) 連携団体長会議

年1回 YAC 分団長が集う場として連携団体長会議を設け、財団との連携協力の強化を図ることを目的にYAC分団活動が活性化するための方策を検討することや活動組織相互の情報交換等を行いました。

期 間：平成 27 年 11 月 21 日(土)～22 日(日)

場 所； 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：分団長38名

概 要：六甲分団長大塚進康氏を議長に選出、公益YACから公益財団法人の業務運営状況について報告し質疑応答を行ないました。次に、「2020年宇宙の旅」宇宙子どもワークショップ2015in 金沢について、金沢支部からの報告、活動委員会からまとめの発表があり、引き続き活動委員会から平成27年度中間報告と計画の説明を行ないました。

1日目の最後には特別講演として会津大学企画運営室兼先端情報科学研究センター准教授寺園淳也氏から「宇宙で生活するには～月、火星で暮らす時代に向けて～」というテーマについて特別講演がありました。

2日目は、各地区毎の協議会を開催、地区分科会テーマについて話し合わせ、その結果については、全体委員会で発表されました。

### 6)活動委員会

JAXA 宇宙教育センター協力の下、YAC 分団等の活動の推進を目的に次のとおり活動委員会を実施し、特定費用準備資金を使った「2020年宇宙の旅」事業について事業計画案の作成を行いました。

① 平成 27 年 5 月 30 日(土)、31 日(日) 場所：ちよだプラットフォームスクウェア アネックス06(30日)、JAXA 東京事務所会議室(31日)

② 平成 28 年 1 月 30 日(土)、31 日(日) 場所：JAXA 東京事務所会議室

## (2)宇宙教育指導者セミナーの開催

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナーを、JAXA 宇宙教育センターと(公財)日本宇宙少年団が主催となり、開催地域と連携協力しながら、以下の内容・地域で開催しました。

概要:

プログラム1. 宇宙教育教材の活用 「衛星利用プログラム」

衛星データ分析ソフト「EISEI」を使って、衛星データから画像を使って分析、郷土の課題を見つけ、社会教育や学校教育に衛星データを活用する計画を作る。

プログラム2. 宇宙教育の理念

宇宙教育の立脚点を示し、子供たちに生活を原点から見直すきっかけを見つける機会をあたえるようにする。

プログラム3. 危機管理と安全教育

子どもを取り巻く社会における危機管理について説明し、リーダー(指導者)の共通理解を図り、野外活動における安全への姿勢と子ども自身の安全に対する心構えを自覚してもらう。

プログラム4. 望ましいリーダー像・子ども理解

リーダーとして持つべき興味関心と子どもの意識・保護者の意識並びに子どもの発達特性を理解する。

### ① 金沢会場(石川県金沢市)

日時: 平成 27 年 6 月 6 日(土) 9:30~17:00

場所: 金沢市教育プラザ

### ② 札幌会場(北海道札幌市)

日時: 平成 27 年 10 月 18 日(日) 9:30~17:00

場所: 札幌市産業振興センター

### ③ 松江会場(島根県松江市)

日時: 平成 27 年 11 月 1 日(日) 9:30~17:00

場所: 島根県民会館 307 室

### ④ 大分会場(大分県大分市)

日時: 平成 27 年 12 月 5 日(土) 9:30~17:00

場所: ホルトホール大分 409 会議室

### ⑤ 仙台会場(宮城県仙台市)

日時: 平成 27 年 12 月 12 日(土) 9:30~17:00

場所: 東北大学片平さくらホール 2F 会議室 A

### ⑥ 日立会場(茨城県日立市)

日時: 平成 27 年 2 月 20 日(土) 9:30~17:00

場所: 日立シビックセンター503 会議室

## (3)講師派遣等

青少年や一般を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発、宇宙教育の促進を目的に、その他事業として、以下の事業及びイベント等に講師派遣を行いました。

### 1)所沢航空発祥記念イベント

特別展「宇宙世代のきみたちへ 空から宇宙へー糸川英夫とはやぶさー」関連イベントとして実施。

内容: スペシャルワークショップ (テーマ: 宇宙飛行士選抜試験)

日時: 平成 27 年 5 月 3 日(日)、4 日(月・祝)、5 日(火・祝)

11 時 30 分~、13 時 30 分~、14 時 30 分~の 1 日 3 回

会場: 所沢航空発祥記念館

### 2)学び体験「ギフト」

内容: 宇宙飛行士模擬訓練体験に合わせた解説や訓練体験の付添及び展示解説

日時: 平成 27 年 5 月 6 日(水・祝)

会場: JAXA筑波宇宙センター

### 3) 和歌山ユネスコ 松本理事長特別講演

第 71 回日本ユネスコ全国大会 in 和歌山

演題: 宇宙と子どもと平和

日時: 平成 27 年 6 月 6 日(土)16:00~17:00

会場: 和歌山市民会館

### 4) 東京おもちゃショー

概要: 東京ビックサイトで開催された「東京おもちゃショー2015」は、4 日間合計で 16 万 0872 名が訪れました。(公財)日本宇宙少年団ブースでは、ブルースーツ(宇宙飛行士訓練服レプリカ)を親子連れに試着体験してもらいました。

日時: 平成 27 年 6 月 18 日~21 日の 4 日間

場所: 東京ビックサイト

協力: 恒星社厚生閣(天文宇宙検定)、ビックセン

出展内容:

- ・(公財)日本宇宙少年団活動の広報活動
- ・ブルースーツ(宇宙飛行士訓練服レプリカ)の試着体験
- ・入団案内の配布
- ・財団寄付金活動

### 5) ISTS神戸

内容: 宇宙ワークショップ(工作教室)

日時: 平成 27 年 7 月 4 日(土)、5 日(日)※1 日午前・午後の 2 回実施

会場: 神戸国際展示場 2 号館

### 6) 日経DUAL宇宙教室

宇宙兄さんズのワークショップ「この夏、宇宙に詳しくなろう」

日時: 平成 27 年 7 月 26 日(日)11:00~12:00

会場: すみだトリニティホール(小ホール)

### 7) 宇宙環境講座

中央区立環境情報センター指定講座「宇宙環境講座

コズミックカレッジミッション4ペットボトルロケット打上げカウントダウン！」

日時: 平成 27 年 8 月 7 日(金)13:30~16:30

会場: 中央区立浜町公園

### 8) 豊洲イベント「ウゴカス」

ロケットのお話、水ロケット工作・打上げ体験

日時: 平成 27 年 8 月 1 日(土)、2 日(日)※1 日午前・午後の 2 回実施

会場: 豊洲特設会場(最寄駅: ゆりかもめ「新豊洲」駅)

### 9) IBM助成事業

IBM社会貢献プログラム「トライサイエンス実験教室」

概要: 日本宇宙少年団未来MM分団の協力で、

1. 探査機を宇宙に送ろう(幼稚園年長~小学校 2 年生)

ロケットに見立てた風船に探査機に見立てたおはじきをつけ、おはじきの長さや貼り付ける場所、ガイドとして貼り付けるストローの長さなどを変えることにより、どのくらい進む距離が変わるかを実験する「探査機を宇宙に送ろう」を実施しました。



2.ひみつの指令を送ろう-コンピューターのせかい-(小学校3年生以上)

IBM東京基礎研究所の方にご協力いただき、コンピューターの仕組みについて学びました。コンピューターの4つの装置(入力装置、処理装置、記憶装置、出力装置)と、それぞれの働きを学んでから、実際にパソコンの中を開けて、それぞれの装置がどのように配置されているかを確認しました。

日時: 平成28年1月10日(日)10:00~12:00

会場: アイ・ビー・エム株式会社 本社

10)国分寺宇宙イベント

宇宙飛行士職業体験ワークショップ

日時: 平成27年12月3日(日)

会場: 国分寺市立いずみホール

5 理事会及び評議員会の開催

(1)理事会

平成27年度 第1回理事会

1. 日時 平成27年6月2日(火) 14時00分~17時00分
2. 場所 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォーム 503会議室
3. 審議事項  
第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算について  
(監事監査の結果及び監事意見を含む。)  
第2号議案 宇宙子どもワークショップ2015in金沢実行委員会参加及び負担金について

平成27年度 第2回理事会

1. 日時 平成27年11月6日(金) 14時00分~16時25分
2. 場所 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォーム 503会議室
3. 審議事項  
第1号議案 諸規程の改正について  
・「連携団体規程」の改正  
・「団員の入会及び会費規程」の改正  
・「講師及び原稿執筆等謝金に関する規程」の改正  
第2号議案 商標使用許諾契約書(案)について

平成27年度 第3回理事会

1. 日時 平成28年3月24日(木) 13時15分~15時30分
2. 場所 千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア地下1階プレゼンテーションルーム
3. 審議事項  
第1号議案 平成28年度事業計画および収支予算について  
第2号議案 次期活動委員の承認について(候補者)

(2)評議員会

平成27年度 定時評議員会

1. 日時 平成27年 6月18日(木)午後2時00分~午後2時45分
2. 場所 ちよだプラットフォームスクウェア 5F 503会議室
3. 審議事項

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 評議員の交代について

**平成27年度 臨時評議員会(書面評決決議)**

1. 議案 理事の選任について
2. 決議日 平成27年10月2日(金)

以上